JCI

公益社団法人

立川青年会議所

のご案内

Junior Chamber International Tachikawa

JCIクリード

The Creed of Junior Chamber International

We Believe;

That faith in God gives meaning and purpose to human life;

That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations;

That economic justice can best be won by free men through free enterprise;

That government should be of laws rather than of men;

That earth's great treasure lies in human personality; and

That service to humanity is the best work of life.

【和訳】

我々はかく信じる
信仰は人生に意義と目的を与え
人類の同胞愛は国家の主権を超越し
正しい経済の発展は自由経済社会を通じて最もよく達成され
政治は人によって左右されず法によって運営されるべきものであり
人間の個性はこの世の至宝であり
人類への奉仕が人生最善の仕事である

JCI ミッション

"To provide development opportunities that empower young people to create positive change."

【和訳】

より良い変化をもたらす力を青年に与えるために
発展・成長の機会を提供すること

JCI ビジョン

"To be the leading global network of young active citizens."

【和訳】

若き能動的市民の主導的なグローバル・ネットワークになること

JC 宣言文

日本の青年会議所は混沌という未知の可能性を切り拓き
個人の自立性と社会の公共性が生き生きと協和する確かな時代を築くために
率先して行動することを宣言する。

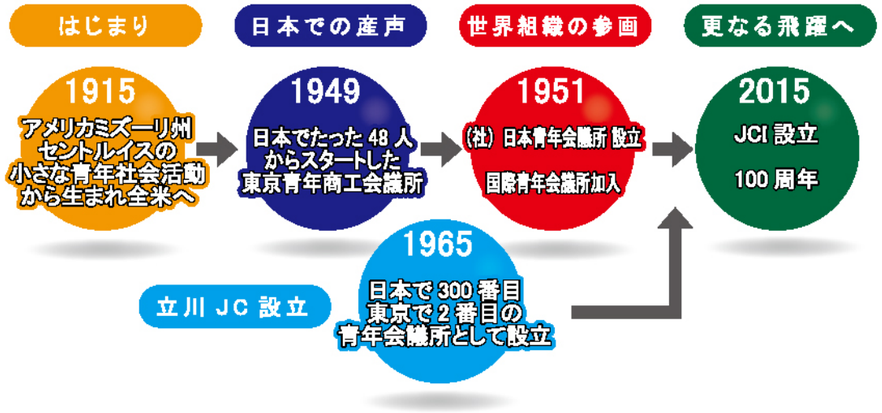
綱領

われわれ JAYCEEは社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者相集いを合わせ青年としての英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう。

青年会議所とは

■ＪＣの歴史

Junior Chamber International（JCI）



■ＪＣの組織とは　JC 運動の主体は常に「地域」です。

全国のメンバーが、自らが暮らすそれぞれの地域から、国を考え、世界を見つめています。

国際青年会議所
JCI
Junior Chamber International

米国ミズーリ州セントルイスの小さな青年社会活動から生まれ、全米、そして世界へと広がっていった JC 運動の国際機関であり世界最大の青年団体。
日本は 1951 年に加盟。

日本青年会議所
NOM
National Organization Member
地区協議会（全国 10 地区）
ブロック協議会（全国 47 ブロック）

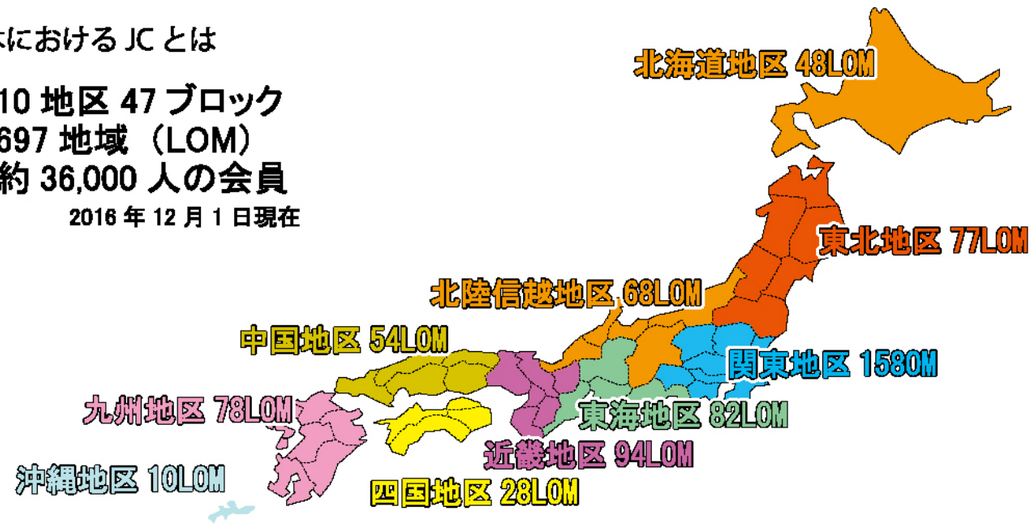
全国レベルの運営について LOM と協働し総合調整にあたる。国際青年会議所として政策提言を行い国際的には国を代表する。ブロック、地区、NOM は全て LOM からの出向者によって構成される。

各地青年会議所
LOM
Local Organization Member

都市ごと、あるいは市部・町村が集まった形で組織され、すべての会員は LOM に所属する。

■日本における JC とは

10 地区 47 ブロック
697 地域（LOM）
約 36,000 人の会員
2016 年 12 月 1 日現在



組織概要

2017年度 スローガン

一期一会

～燦然と輝く未来を見据えこの一瞬を生きる青年であれ～

理事長あいさつ

人間は誰しも生まれてくる意味があり、かけがえのない人生の中で行うべき「使命」があると考えます。「使命」とは言葉の通り、「命を使う」と書きます。日本人の「使命」とは何かを考えるとき、日本人のアイデンティティの中に連綿と受け継がれているものは、個人を重視するのではなく集団で行動することの中で秩序や規律、礼儀を重んじる精神を持つ「和の心」です。そして、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定している中、改めて「和の心」について考え、世界組織JCI（国際青年会議所）の一員である我々は「Globalism」についても考えます。

私達が、目に見えない人の心を想う「人間力」を高め、地域の課題を抽出し率先して行動し、市民の皆様からの共感を得ることで、地域の価値を上げていく力「地域力」を高めます。また、地域の「時間軸」を考えたとき、子供達の未来を見据え、未来に向かいこの一瞬を生きる青年である我々には何ができるのかを考え、子供達が大きな夢を描き続ける社会を築くために、青年会議所だからできることを実践していきます。「地球は次世代からの借り物」であるという責任が、私達にはあるのです。

2017年度のスローガンである、「一期一会」は千利休が、「茶会に臨む際は、その機会を一生に一度のものと心得て、主客ともに互いに誠意を尽くせ」といった教えからきた言葉です。青年会議所の特徴である40歳までという限られた時間の中で、自己の利益を考える「自利」の精神のみではなく、他者のことに想いを馳せる「利他」の精神を併せ持ち、「和の心」と「Globalism」が調和した、人と人とが相互に支え合う地域を創造します。

子供達が大きな夢を描き続ける、燦然と輝くこの地域の未来を見据え、2度とない人生だからこそすべての出会いを「一期一会」と捉え、地域を代表する青年経済人として率先して行動することをお誓い申し上げます。

2017年度、立川青年会議所の運動にどうぞご期待ください。

公益社団法人立川青年会議所　第53代理事長　岡部 栄一

団体名	公益社団法人立川青年会議所
創立年月	1965 年 7 月
社団法人設立年月	1972 年 5 月
公益社団法人設立年月	2013 年 1 月
本部所在地	〒190-0012 東京都立川市曙町 2-38-5 立川ビジネスセンタービル 12F
代表者	理事長　岡部　栄一
公益目的事業	(1) 産業経済事業 (2) 文化・街づくり事業 (3) 青少年育成事業 (4) 国際化推進事業 (5) 啓発事業
2016 年度重点事業	(1) 地域を知り、地域を愛し、自分の限界を決めず「自ら考え、積極的な行動を起こせる」次世代の人材育成 (2) 地域諸団体・行政・企業との更なる連携の機会創出
事業年度	1 月 1 日～ 12 月 31 日
会員数	106 名（2016 年 12 月現在）

2017年度（第53代）理事長 プロフィール

氏　　名　岡部 栄一

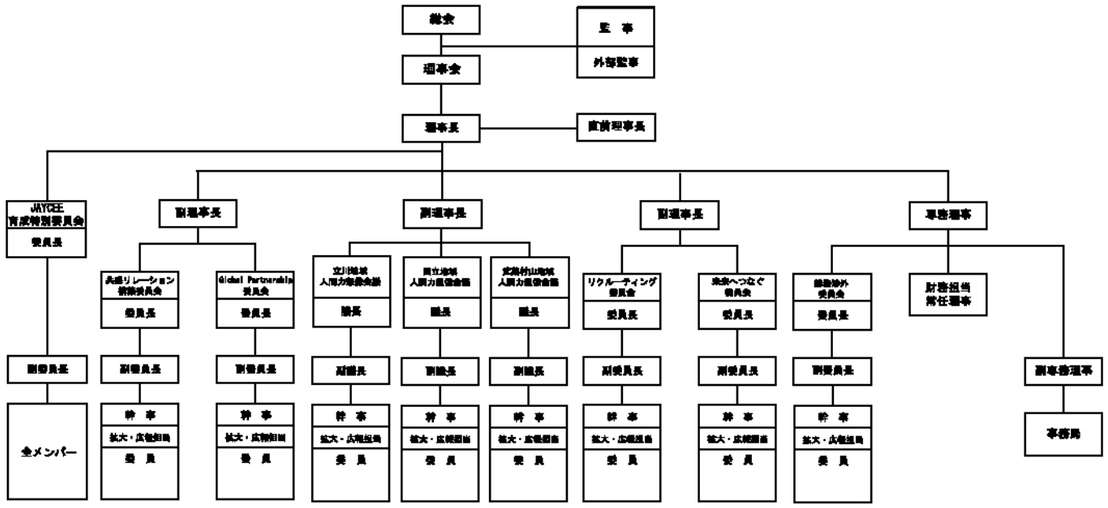
生年月日　1980年11月10日(36歳)

勤 務 先　株式会社ヤマヲ

青年会議所経歴

2012年	入会　地域協働推進委員会　委員
2013年	50周年事業準備特別委員会　幹事
	公益社団法人日本青年会議所　総務グループ JC運動発信会議　総括幹事
2014年	総務広報委員会　委員長
	公益社団法人日本青年会議所 関東地区　東京ブロック協議会 東京ブロック大会運営委員会　委員
	グローバルネットワーカー取得（国際アカデミーin半田）
2015年	きずな繋ぐ育成委員会　委員長
	公益社団法人日本青年会議所　LOM支援グループ 拡大委員会　委員
2016年	副理事長
	公益社団法人日本青年会議所　総務グループ 共感デザイン構築会議　議長

2017年度　組織図



立川青年会議所の沿革

1965年	立川・昭島・国立・大和・村山の2市3町（当時）87名の有志により立川青年会議所設立
1967年	小学生に「黄色いランドセルカバー」を寄贈（立川JCから全国に発信）
1970年	アメリカ・サンバーナディノJCと姉妹締結
1971年	韓国・温陽JCと姉妹締結
1972年	社団法人認可
1975年	教育の原点「母乳」教室 おっぱいキャンペーンの開催
1980年	5000人の市民意識アンケート調査の実施
	ちびっこサマースクールの開催
1984年	多摩メトロポリス祭の開催（現在の楽市）
1997年	キッズフェスティバルの開催
2003年	創立40周年記念フェスタの開催
2004年	「ゆめ基金」設立
	花いっぱい運動
2005年	むさしむらやまグリーンフェスタの開催
2007年	ふれあいフェスタ2007の開催
	シビックティーチャーバンクを設立
2008年	第21回国際アカデミーin立川の開催
2010年	2010年代運動指針を策定
2011年	RIDE and CHALLENGE2011の開催
2012年	こどもドリームフェスタ2012in武蔵村山の開催
2013年	公益社団法人格取得
	Youth conference in 立川2013の開催
2014年	創立50周年記念式典の開催
	キッズドリームチャレンジ（50周年記念事業）の開催
	第26回わんぱく相撲東京都大会の開催
	第45回東京ブロック大会　立川大会　開催決定
2015年	キッズドリームチャレンジ2015の開催
	Tachikawa Global One Projectの開催
2016年	第45回東京ブロック大会立川大会の開催
	第1回わんぱく相撲国立場所の開催
	youth conference Step1～Step4の開催
	キッズドリームチャレンジ2016の開催

▲1967年黄色いランドセルカバー

▲2014 年創立 50 周年記念式典

▲2016年第1回わんぱく相撲国立場所

青少年事業

子供達の未来のために

～地域から愛される継続事業へ～

キッズドリームチャレンジ

2014年 （50周年記念事業）
子供達の手によるダンスフェスティバルを開催

2015年
子供達の手によるフットサル大会を開催

2016年
子供達の手によるドリームフェスタ 2016 を開催

この事業は 3 つの柱で構成されており Step を経る事により、地域一体での子供達の育成と、学校の枠を超えた出会いのもと子供達が地域企業と協働し、普段なかなか体験できない「社会の仕組み」や「人とのつながり」、「支えあいの心」の大切さ、人の為に何かを成し遂げ感謝される喜びを体感することで、「自己肯定感」や「地域愛」を育んでもらう機会、さらには将来への夢を膨らませる機会創出を行っています。2016 年は、子供達に多様な機会を与えることが可能となる青少年育成事業の必要性を感じていただき、自身の存在意義を肯定できる機会創出、また本事業に携わっていただいた地域の方々へ改めて感謝する気持ちを持つことで「地域愛」を育むことを目的とし、全 11 業種もの地域諸団体に協力をいただき子供達だけで創り上げる地域のイベントを行いました。

▲事前説明会

▲ダンスチーム職業体験

▲カメラマン職業体験

▲イベント当日の様子

▲2016 年度ドリームフェスタ事業を終えて

文化向上・まちづくり事業

未来のまちづくりのために

～「18 歳選挙権」みらいくを開催～

「選挙への知識不足」「政治的無関心」「政治的無力感」等、若年層を中心に国民全体の政治への関心の薄さ、投票が日本国民の権利と義務であるという意識の低さの問題に対し、18 歳に選挙権が引き下げられた 2016 年度が若年層の参政意識を向上させる好機と捉え「みらいく」事業を立川・国立・武蔵村山市で開催しました。未来の有権者である子供達に選挙に触れる機会を与え、青年期における有権者教育の必要性を認識することが必要と考えております。模擬選挙を経験したことで政策の選び方や投票により、自分達が住んでいるまちの未来が決まるということを実体験として学び、選挙の意義や目的、投票を有権者の当然の責任と捉え参政意識を醸成することを目的としました。

▲みらいく 演説の様子

▲みらいく 投票の様子

国際事業

地域の国際化に向けて

～未来を担うグローバルな人材へ～

▲米軍横田基地の方との記念撮影

▲米軍横田基地内にて子供達との交流事業

近年は小学校からの英語教育取り入れや様々な人種の方が学校に在籍するなど、以前に比べ教育環境や生活環境が変化してきていると言われています。日本人は、元来様々な人種、様々な文化や言語が混在する社会生活を送っていない中で、今後外国の文化や考えを理解し受容していく事が必要となってきます。立川青年会議所では、最も多感な時期であり、自分の将来や進路を考え始める世代である中学生を対象に「一歩を踏み出す勇気」という意識を先ず持ってもらい、更に地域愛を持って外国の文化や考え方の差を体験し、受容したうえでグローバルな目線を持って積極的に行動し地域を活性化できる人材作りも行っています。

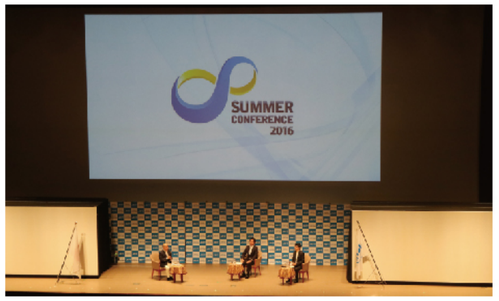
育成事業

みんなで意識を高め合う

～一人ひとりの成長が地域への大きな発信力を生む～

入会1年目のメンバーで構成された【新人小委員会】は、新人メンバーだけで議題を決め、12 月の発表に向け会議を行い、悩み考えながら一つの事をやり遂げる大変さや達成感などを感じてもらい、JC 運動の理解を深めるとともに、自己の成長につなげることを目的としています。その他メンバー向けの研修セミナー等も行い次世代のリーダーを輩出しています。

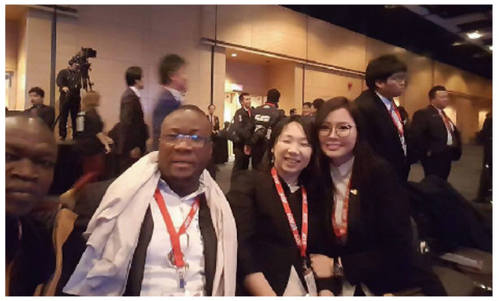
▲新人小委員会　協議風景



▲2016 サマーコンファレンス横浜　セミナー風景

世界・全国各地で行われる会議

▲2016 京都会議



▲2016 世界会議 in カナダ

▲2016 全国大会 in 広島

▲2016 アジアパシフィックコンファレンス in 高雄（台湾）

3 市事業

地域密着
立川・国立・武蔵村山 わんぱく相撲

▲立川開催（立飛みどり地区）

▲国立開催（国立駅前）

▲武蔵村山開催（武蔵村山市立第十小学校）

2014年には、わんぱく相撲東京都大会を開催!

立川

▲よいと祭り　制作した提灯の展示

▲秋の楽市　ボルダリング

国立

▲どんど焼き　前玉作り

▲さくらフェスティバル　じゃんぼカルタ大会

武蔵村山

▲大縄跳び大会

▲デエダラ祭り　わんぱく広場

第45回 東京ブロック大会 立川大会

大会ロゴ

前進
－人生を謳歌できる社会へ－

大会スローガン

1500名の会員からなる、東京都内24会議所の最大の運動発信の場として毎年東京都内の異なる場所で開催しています。2016年度は15年振りに立川での開催となり、地域に根付く企業諸団体の協力の元 100 を超えるブース出店、各フォーラムを行いました。また、今回の開催にあたる記念事業として、地域の魅力を最大限お伝えする為のプロモーションムービー製作発表を行いました。

▲開催地理事長挨拶

▲第45回東京ブロック大会記念事業発表

JC運動を通じて自己の成長へ
JCの機会・入会のメリット

立川JCで出会う仲間は、あなたの人生において大きな財産となります。
立川JCで培われたネットワークは、あなたのビジネスに大きな力となります。
立川JCで体験する様々なプログラムは、あなたの企画力や実行力を高めます。
立川JCで使用する組織運営システムは、あなたの会社の組織力を高めます。
立川JCで行うまちづくり、ひとづくりは、あなたの子供世代の未来をより良くします。

▲京都会議　大懇親会

▲サマーコンファレンス横浜

その他の事業

▲2016年新年賀詞交歓会

▲国立三中　模擬面接

例会・事業・委員会活動について

1月 賀詞交歓会
2月 定期総会
5月 東京ブロック大会 三鷹大会
10月 全国大会 さいたま中央
12月 卒業式 アワード
12月 通常総会

各種同好会

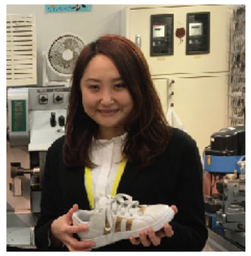
▲球友会（ゴルフ）

▲エーデルスキークラブ

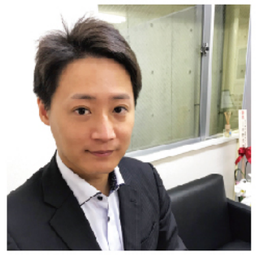
▲JCスーパースターズ（野球）

まちのため、人のため、未来のために
私達は活動しております

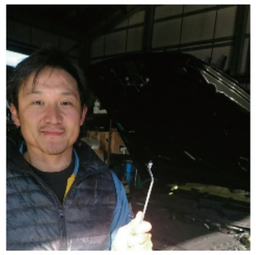
㈱長井工務店
建設業
取締役 長井　俊



㈲ウィーナーズトレーディング
販売
総務・経理担当 秩父　あぐり



㈱アルフォース・ワン
求人広告業
代表取締役 山根　謙生



ヨコタサービス㈱
自動車整備
代表取締役 小林　泰英

㈱けやき出版
出版業
代表取締役 小崎　奈央子

㈱藤野企画
テニススクール
事務職 藤野　直美

社会福祉法人草萠学舎　玉川保育園
福祉業
職員 児玉　光平

㈱ガンバ保険サービス
保険業
代表取締役 菊田　武

㈱クリーンワークマン
エアコンクリーニング・飲食業
専務取締役 濱中　綾子

入会までのフロー

入会申し込み → オリエンテーションの受講 → 3か月の内 3回中2回以上の例会出席 又は 例会1回事業2回 → 入会金(2万) 年会費(13万円)の納入 → 理事会にて承認後、例会にてJCバッジ贈呈

青年会議所のQ&A

Q 仕事が忙しいのですが、続けることはできるのでしょうか？

A 私たち青年会議所のメンバーもみんな仕事で忙しい中、JC運動をしていますがその中で時間の有効的な使い方を身につけています。

Q JC運動は女性でもできるのですか？

A JCの理念である「明るい豊かな社会」の実現は男性だけでできるものではありません。ぜひ、あなたの感性を生かしてください。全国で約2,600名の女性会員があり立川青年会議所では、多くの女性会員が活躍しております。

Q 年齢的にまだ若いと思うのですが入会することはできますか？

A 人と人のネットワークは、若ければ若いほど作りやすいし、また、JCの中でもそれだけ沢山のことを経験できます。立川青年会議所には20代の方も沢山います。

Q 経営者ではないのですが、入会することはできますか？

A 経営者だけを対象とする団体ではありません。まちづくりやひとづくりといったJC活動は経営者か否かは関係ありませんので、ぜひご参加ください。お待ちしております。

Q JC出身者にはどのような人がいますか？

A JCは各界のリーダーを輩出しています。多くのOBが様々な分野で活動しています。

麻生 太郎

小泉 純一郎

千玄室

ビル・ゲイツ

ジョン・F ケネディ

コフィー・アナン

中曽根 康弘／市川團蔵／リチャード・ニクソン／チャールズ・リンドバーグ
他にも著名人たちが各界で活躍されています。

立川青年会議所歴代理事長

歴　代	氏　　名	職　　業
初代	(故)中村　正久	
第2代	(故)森下　博	
第3代	(故)片海　晶良	
第4代	(故)下野　一男	
第5代	(故)髙田　勝敏	
第6代	岩崎　泉	㈱立川パーキング･センター　社長
第7代	髙田　貴久	多摩中央産業㈱　代表取締役
第8代	藤澤　弘志	
第9代	五十嵐　芳治	東京トーイ㈱　代表取締役
第10代	中村　克久	㈱ＮＲＥ中村事　取締役会長
第11代	矢島　功	上石神井歯科
第12代	梅田　俊一	梅田醤油㈱　代表取締役
第13代	杉山　次男	岩崎不動産㈱　常務取締役
第14代	(故)山上　公隆	
第15代	小林　日文	株式会社無門　会長
第16代	岩崎　喜功	岩崎倉庫㈱　取締役会長
第17代	(故)尾崎　豊	
第18代	加藤　精一	㈱カトービルドシステム　代表取締役会長
第19代	浦野　勇	学校法人　浦野学園理事長
第20代	(故)中川　務	
第21代	鈴木　茂	アーキフリー㈱　代表取締役
第22代	中山　賢二	㈱なかやま不動産　専務取締役
第23代	井山　光一	gosengakufu㈱　会長
第24代	小林　和雄	三井企画㈱　代表取締役
第25代	岡部　直士	㈱ヤマヲ　代表取締役社長
第26代	須崎　八朗	立川市議会議員
第27代	荒生　信行	ランドスケープ　代表
第28代	岩崎　春伸	岩崎不動産㈱　代表取締役
第29代	坂村　英之	社会福祉法人　聖愛学舎　園長
第30代	加藤　積一	ふじようちえん　園長
第31代	渡辺　洋司	
第32代	(故)草野　孝毅	
第33代	大久保　清隆	㈱大久保組　代表取締役
第34代	岩下　光明	岩下商事㈱　代表取締役
第35代	桂　耕史	㈱カンテック　代表取締役
第36代	中山　賢一	㈱ライズデザイン　代表取締役
第37代	栗原　一	㈱朝雅　専務取締役
第38代	小松　剛	㈲ロイアルティボディ　代表取締役
第39代	木村　辰幸	社会保険労務士法人　木村事務所　代表社員　特定社会保険労務士
第40代	田中　太	㈱ムサシ田中企画　代表取締役
第41代	矢澤　俊一	㈱YAZAWA LUMBER　代表取締役社長
第42代	尾上　研児	㈱ティーオーデリバリー　代表取締役
第43代	渡辺　博昭	渡辺電業㈱　取締役社長
第44代	端　晶弘	㈱ハタ技術研究社　代表取締役社長
第45代	宮崎　昭人	㈱匠技建　代表取締役
第46代	金子　幹広	社会福祉法人 草萌学舎 西国立保育園
第47代	松浦　孝治	松浦商事㈱　社長
第48代	矢澤　貴光	矢澤電気㈱　代表取締役
第49代	迎　浩一朗	㈱テイルウィンドシステム　代表取締役
第50代	宇都木　健太	プルデンシャル生命保険㈱
第51代	伊藤　大輔	立川市議会議員
第52代	中川　夕香	㈱立川徽章　常務取締役
第53代	岡部　栄一	㈱ヤマヲ　専務取締役

私たちの運動にご賛同いただける
オフィシャルスポンサー（賛助会員）を募集しております

賛助会員規定

賛助会員は、本会の目的に賛同し、その発展を助成しようとする個人、法人又は団体。

入会手続き

入会申し込みは随時とし、理事会での入会承認を受けた後、総会で定める会費を納入することにより、申し込み日をもって賛助会員となる。

在籍期間

賛助会員としての在籍期間は1事業年度とし、毎年所定の更新手続きを経て、継続することができる。

賛助会員の権利

- 本会広報誌の配布を受ける権利
- 例会等の本会の催す各種事業の通知を受ける権利
- その他当該年度の理事長が適当と認めた事項

会費

法人又は団体
(1)　30,000円以上　1月～6月迄に入会が確定した方
(2)　15,000円以上　7月～12月迄に入会が確定した方

入会までの手続き

入会希望者 ▶ 賛助会員入会申込書記入 ▶ 理事会による審査・承認 ▶ 会費の納入 ▶ 正賛助会員

立川JCオフィシャルスポンサー

多摩信用金庫
立川市曙町 2-8-28　TEL 042-526-1111

真如苑
立川市錦町 1-2-13　TEL 042-527-0111

株式会社 立飛ホールディングス
TACHIHI
立川市栄町 6-1 立飛ビル 3 号館　TEL 042-536-1111

いなげや
立川市栄町 6-1-1　TEL 042-537-5111

有限会社 東陽企画グループ
国立市富士見台 2-15-7　TEL 042-580-2221

パレスホテル立川
立川市曙町 2-40-15　TEL 042-527-1111

学校法人 地球のひろば藤幼稚園
立川市上砂町 2-7-1　TEL 042-536-4413

立川グランドホテル
立川市曙町 2-14-16　TEL 042-525-1121

小杉歯科医院
立川市曙町 2-34-6 小杉ビル 4F　TEL 042-526-8766

有限会社 新光社
昭島市東町 3-13-15　TEL 042-545-0741

緑彩着房 うのや
立川市高松町 3-14-2　TEL 042-521-2468

立川ルーデンステニスクラブ
立川市泉町 935-1　TEL 042-525-9677

ビジネスホテル純和／武蔵平成の間
武蔵村山市三ツ藤 3-8-1　TEL 042-560-5858

有限会社 桜運転代行社
西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎 564-1　TEL 042-568-0432

株式会社 GOSHIKI
武蔵村山市三ツ藤 1-31-4　TEL 050-5796-1607

立川ワシントンホテル
立川市錦町 3-7-16　TEL 042-548-4111

烏良 立川２号店
立川市曙町 2-8-5 シネマシティ 13F　TEL 050-5797-4416

アライ写真館
立川市高松町 2-26-2　TEL 042-522-3507

株式会社 壽屋
立川市錦町 4-5 壽屋ビル　TEL 042-522-9810（代）

国営昭和記念公園管理センター
昭和記念公園パークス共同体
立川市緑町 3173　TEL 042-528-1867（代）

私たちの活動を理解し、賛同していただけるオフィシャルスポンサー（賛助会員様）を募集しております！

JCI™

【お問い合わせ】

● 公益社団法人立川青年会議所　事務局

TEL：042-527-1001　FAX：042-527-6600

E - mail：info@tachikawajc.or.jp

URL：http://www.tachikawajc.or.jp

● 入会・賛助会員担当　リクルーティング委員会　委員長：須永　誠人

TEL：080-4379-1899

E-mail：sunaga@t-space.jp

● 広報・報道担当　共感リレーション構築委員会　委員長：曽我部　吉弘

TEL：090-5767-0512

E-mail：yoshisogabe@gmail.com